



平成24年度
決算特別委員会

福岡市の将来を見据えて... シティズンシップ教育の重要性について熱弁!

今日も!
胸を張って、元気よく!!

福岡市議会議員
田中しんすけ

議会を **変える。**
暮らしを **守る!**

民主党

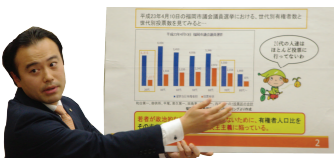
議会通信 第25号 2013年 秋号

発行者: 福岡市議会議員 田中しんすけ

〒810-0014 (民主・市民クラブ)
福岡市中央区平尾2-3-21 城戸ビル201
TEL 092-521-3650 FAX 092-521-5221
URL : http://www.tanakashinsuke.jp
E-mail : info@tanakashinsuke.jp



「酷暑」となった夏の厳しさもすっかり影をひそめ、気づけば例年通りの清々しい季節になりました。行楽の秋、食欲の秋が本格到来ですね。ところで、毎年11月は、秋季全国火災予防運動が実施される時期でもあります。この期間中には、各地で住宅防火診断、防火講習会、防災訓練など様々な行事やイベントが予定されています。この際に防火・防災に対する関心を寄せて頂きながら、火の元にもお気を付け下さい。今回の議会通信では、平成24年度決算特別委員会における「総会質疑」の内容を中心にレポートします。



「若者の政治参加を促進する取り組みについて」 ～シティズンシップ(市民性)を育む視点から～

若年者層の「投票」の現状

各種選挙において、とりわけ若い世代の投票率が他の年代と比較して低い傾向があることが指摘されています。平成23年に実施された福岡市議会議員選挙における年代別の投票率は、20歳代が20.69%、30歳代が29.90%(※70歳代は64.30%)、直近の参議院議員選挙における年代別の投票率は、20歳代が29.07%、30歳代が38.51%(70歳代は65.23%)でした。

このような理由としては、若者の政治的関心が低いことや投票に対する義務感が希薄であることなどが指摘されています。



▲学生の研究成果を活かして質問を展開

社会科における「政治」の授業の在り方について

政治参加を促進するもうひとつの切り口として、社会科の授業で「政治(公民)」を学習する際には「学習課題を自ら設定して調査研究を行なう授業(いわゆる、テーマ授業)」を全校で取り入れるべき点を主張しました。各学校で実施されている「テーマ授業」の実績を把握するとともに、その中でも優れた取り組み事例を集め、その内容を各学校で共有・模倣できる仕組みを、教育委員会がイニシアティブをとって構築することを提案しました。



▲公民の教科書を議場で紹介

児童会・生徒会活動の活性化について

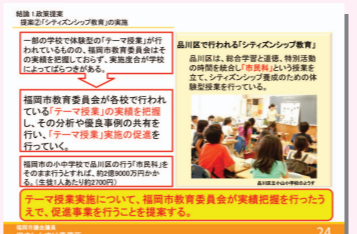
今回のテーマである「若者の政治参加の促進」について、アプローチの視点として「シティズンシップ(=市民性)」という考え方を提示しました。これは、『多様な価値観や文化で構成された社会において、個人が自己を守り、自己表現を図るとともに、よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的にかかわろうとする資質』と説明されています。

このシティズンシップを育むために、今回の質問では「児童会・生徒会活動」を活性化することを提案。他都市で実践されている活性化施策を研究して、本市に合わせた児童会・生徒会活動の活性化策を実施すべきと訴えました。

「シティズンシップ教育」の実践に向けて!

「シティズンシップ」の定義にある「社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的にかかわろうとする資質」は、まさに「政治」という営みに求められる資質と同義でもあります。

これからの若者が、学校教育だけでなく、自治会や町内会と連携して普段の生活の中でも『体験を伴う政治』が実践できる仕組みを研究し、順を追って施策化していくべきではないか、と最後に高島市長に所見を求めました。



▲具体的な活性化策を提案しました!

ローカルマニフェストの進捗状況を市民の皆さまに報告! 第2回 議会活動報告会を開催しました!

私たち民主・市民クラブは、2011年の福岡市議選において「市民と一緒に地域の将来を議論し、政策のかたちで提案し、さらに市民に対する説明責任をしっかりと果たすことのできる『働く議会』を実現することを約束して、会派のローカルマニフェストを掲げて実現に向けた取り組みを進めてきました。この進捗状況を説明し、市民の皆さまとの意見交換を行なうために、昨年に引き続き「議会活動報告会」を開催しました。会場には150名を超える市民の皆さまのご参加を頂き、福岡市政の課題などについて貴重な意見をお寄せ頂きました。



▲ローカルマニフェストの進捗を報告する様子

- 1. 議会活動報告と今年度予算**
福岡市議会の役割や審議の仕組みを始め、この1年間の会派の活動概要について報告しました(地方財政の充実・強化を求める意見書の提出、中央保育園移転問題の検証、ローカルマニフェストに基づく政策提案など)。今年度予算については、待機児童解消に向けた取り組み、行財政改革プランの概要など、市民の関心の高い話題を解説しました。
- 2. ローカルマニフェスト進捗状況**
地域主権戦略、生活保障戦略、成長戦略という3分野で、合計51施策の実現を目指していますが、これまでの進捗状況の内部評価を報告しました。2年間で会派の意向に沿って政策が実現したものが全体の68パーセントとなりましたが、会場からは「評価が甘いのでは?」という厳しい意見も頂きました。今後は、さらなる取り組みを進めたいと思います。
- 3. 会場との意見交換(質疑応答)**
私たち議員による一方的な説明だけではなく、報告会では自由なテーマで会場の市民の皆さまと意見交換する時間を45分あまり取らせて頂きました。とりわけ中央保育園の移転問題に関しては、現状についての説明を求める声や市内の複数の箇所でも風営法関連の事業所の近くに保育園の整備が進んでいることに対して疑問の声が上がりました。

第5回 ひら・ぐら市場盛りました! 平尾商工連合会

10月5日(土)、中央区平尾の福岡市計量検査所において「ひらぐら市場」が開催されました。今回で5回目を迎えた青空市場は、カレーや韓国料理、雑貨屋などおよそ30店舗が軒を連ねました。生活関連イベントの「お米のすくい取り」や「野菜・お菓子の詰め放題」は相変わらず長蛇の列が出るほどの好評振りで、これに加えて一流の大道芸やご当地アイドル、お笑いのパフォーマンスを披露する「ひら-1グランプリ」では、来場者が審査員として参加。ナンバーワンを決める決勝戦では人だかりが出来るほどの盛り上がりでした。当日はあいにくの雨模様にもかかわらずご来場いただいた皆さん、本当にありがとうございました!

平尾「まちゼミ」開催決定!!

期間:1月13日(月)~2月14日(金)

「まちゼミ」とは、商店街個店の存在・特徴を知って頂くとともに、お店スタッフとお客様のコミュニケーションの場から、信頼関係を築くことを目的とした事業です。また、イベントでただ人を集めるのではなく、顧客が来店する理由付けを増やすことを通じて、お店に根付いて頂くことを目的とした事業です。是非みなさんも、お友達とお誘い合わせの上で、この平尾「まちゼミ」に受講生としてご参加下さい!

▲他都市における取り組み風景のイメージ

政策研究発表会で最優秀賞を受賞しました!

田中しんすけが毎年(2月~3月、8月~9月の2回)受け入れている学生インターンシップ。今夏に受け入れた第13期生は、市議会の傍聴や街頭演説、地域行事の支援など様々な活動を通して多くのことを学んでもらいました。また、インターンシップの最終報告会で行なわれた政策研究発表会では、「若者の政治参加」をテーマとして福岡市への政策提言を実施、インターンシップを受け入れた全22議員事務所の中で最優秀賞を獲得しました!

田中しんすけ議員事務所
山上 健志郎
伊豆 亮祐

若者の政治参加について
一政治参加促進に向けた福岡市への政策提案一

▲学生が作成した政策研究報告書

▲街頭演説の様子

田中しんすけ 市政相談承ります!

お気軽に
ご連絡下さい!!

521-3650

田中しんすけ 昭和53年6月14日生まれ(35歳)

1991年 西高宮小学校 卒業	2004年 早稲田大学大学院 政治学専攻修士課程 修了
1994年 西南学院中学校 卒業	同年 アクセンチュア株式会社 入社
1997年 筑紫丘高等学校 卒業	2007年 福岡市議会議員(1期)
2001年 九州大学法学部 卒業	2011年 福岡市議会議員(2期)

平尾八幡宮(秋の奉納祭)の様子
(2013.10.19)



平成24年度
決算特別委員会

福岡市の将来を見据えて... シティズンシップ教育の重要性について熱弁!

今日も! 胸を張って、元気よく!!

田中しんすけ

福岡市議会議員

議会通信 第25号 2013年 秋号

発行者: 福岡市議会議員 田中しんすけ
〒810-0014 (民主・市民クラブ)
福岡市中央区平尾2-3-21 城戸ビル201
TEL 092-521-3650 FAX 092-521-5221
URL: http://www.tanakashinsuke.jp
E-mail: info@tanakashinsuke.jp

議会を**変**える。
暮らしを**守**る!



ローカルmanifestoの進捗状況を市民の皆さまに報告! 第2回 議会活動報告会を開催しました!

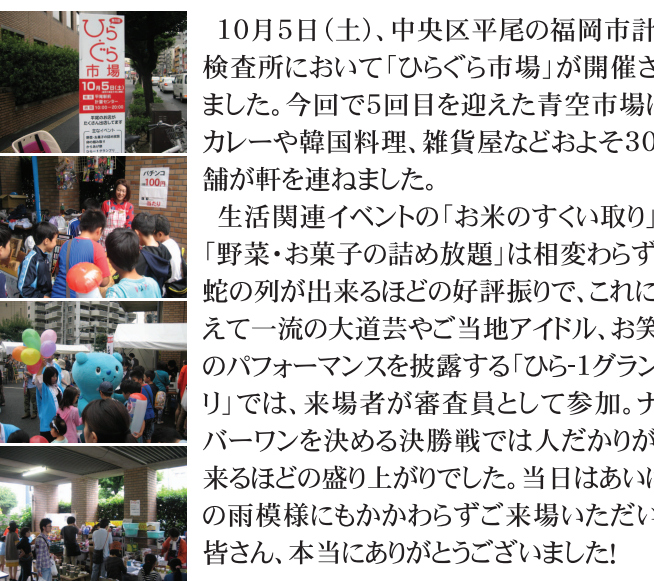
私たち民主・市民クラブは、2011年の福岡市議選において「市民と一緒に地域の将来を議論し、政策のかたちで提案し、さらに市民に対する説明責任をしっかりと果たすことのできる『働く議会』を実現すること」を約束して、会派のローカルmanifestoを掲げて実現に向けた取り組みを進めてきました。この進捗状況を説明し、市民の皆さまとの意見交換を行なうために、昨年に引き続き「議会活動報告会」を開催しました。会場には150名を超える市民の皆さまのご参加を頂き、福岡市政の課題などについて貴重な意見をお寄せ頂きました。



▲ローカルmanifestoの進捗を報告する様子

- 1. 議会活動報告と今年度予算**
福岡市議会の役割や審議の仕組みを始め、この1年間の会派の活動概要について報告しました(地方財政の充実・強化を求める意見書の提出、中央保育園移転問題の検証、ローカルmanifestoに基づく政策提案など)。今年度予算については、待機児童解消に向けた取り組み、行財政改革プランの概要など、市民の関心の高い話題を解説しました。
- 2. ローカルmanifesto進捗状況**
地域主権戦略、生活保障戦略、成長戦略という3分野で、合計51施策の実現を目指していますが、これまでの進捗状況の内部評価を報告しました。2年間で会派の意向に沿って政策が実現したものが全体の68パーセントとなりましたが、会場からは「評価が甘いのでは?」という厳しい意見も頂きました。今後は、さらなる取り組みを進めたいと思います。
- 3. 会場との意見交換(質疑応答)**
私たち議員による一方的な説明だけではなく、報告会では自由なテーマで会場の市民の皆さまと意見交換する時間を45分あまり取らせて頂きました。とりわけ中央保育園の移転問題に関しては、現状についての説明を求める声や市内の複数の箇所での風営法関連の事業所の近くに保育園の整備が進んでいることに対して疑問の声があがりました。

第5回 平尾商工連合会 ひらぐら市場盛り上がりました!



政策研究発表会で 最優秀賞を受賞しました!

田中しんすけが毎年(2月~3月、8月~9月の2回)受け入れている学生インターンシップ。今夏に受け入れた第13期生は、市議会の傍聴や街頭演説、地域行事の支援など様々な活動を通して多くのことを学んでもらいました。また、インターンシップの最終報告会で行なわれた政策研究発表会では、「若者の政治参加」をテーマとして福岡市への政策提言を実施、インターンシップを受け入れた全22議員事務所の中で最優秀賞を獲得しました!



▲学生が作成した政策研究報告書

平尾「まちゼミ」開催決定!! 期間:1月13日(月)~2月14日(金)

「まちゼミ」とは、商店街個店の存在・特徴を知って頂くとともに、お店スタッフとお客様のコミュニケーションの場から、信頼関係を築くことを目的とした事業です。また、イベントでただ人を集めるのではなく、顧客が来店する理由付けを増やすことを通じて、お店に根付いて頂くことを目的とした事業です。是非みなさんも、お友達とお誘い合わせの上で、この平尾「まちゼミ」に受講生としてご参加下さい!



田中しんすけ 市政相談所

お気軽に
ご連絡下さい!!

521-3650

田中しんすけ 昭和53年6月14日生まれ(35歳)

「酷暑」となった夏の厳しさもすっかり影をひそめ、気づけば例年通りの清々しい季節になりました。行楽の秋、食欲の秋が本格到来ですね。ところで、毎年11月は、秋季全国火災予防運動が実施される時期でもあります。この期間中には、各地で住宅防火診断、防火講習会、防災訓練など様々な行事やイベントが予定されています。この際に防火・防災に対する関心を寄せて頂きながら、火の元にもお気を付け下さい。今回の議会通信では、平成24年度決算特別委員会における「総会質疑」の内容を中心にレポートします。

「若者の政治参加を促進する取り組みについて」 ~シティズンシップ(市民性)を育む視点から~

若年者層の「投票」の現状

各種選挙において、とりわけ若い世代の投票率が他の年代と比較して低い傾向があることが指摘されています。平成23年に実施された福岡市議会議員選挙における年代別の投票率は、20歳代が20.69%、30歳代が29.90%(※70歳代は64.30%)、直近の参議院議員選挙における年代別の投票率は、20歳代が29.07%、30歳代が38.51%(70歳代は65.23%)でした。

このような理由としては、若者の政治的関心が低いことや投票に対する義務感が希薄であることなどが指摘されています。

▲学生の研究成果を活かして質問を展開

社会科における「政治」の授業の在り方について

政治参加を促進するもうひとつの切り口として、社会科の授業で「政治(公民)」を学習する際には「学習課題を自ら設定して調査研究を行なう授業(いわゆる、テーマ授業)」を全校で取り入れるべき点を主張しました。各学校で実施されている「テーマ授業」の実績を把握するとともに、その中でも優れた取組み事例を集め、その内容を各学校で共有・模倣できる仕組みを、教育委員会がイニシアティブをとって構築することを提案しました。

▲公民の教科書を講義でも紹介

児童会・生徒会活動の活性化について

今回のテーマである「若者の政治参加の促進」について、アプローチの視点として「シティズンシップ(=市民性)」という考え方を提示しました。これは、『多様な価値観や文化で構成された社会において、個人が自己を守り、自己表現を図るとともに、よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的にかかわろうとする資質』と説明されています。

このシティズンシップを育むために、今回の質問では「児童会・生徒会活動」を活性化することを提案。他都市で実践されている活性化施策を研究して、本市に合わせた児童会・生徒会活動の活性化策を実施すべきと訴えました。

「シティズンシップ教育」の実践に向けて!

「シティズンシップ」の定義にある「社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的に関わろうとする資質」は、まさに「政治」という営みに求められる資質と同義でもあります。

これからの若者が、学校教育だけではなく、自治会や町内会と連携して普段の生活の中でも『体験を伴う政治』が実践できる仕組みを研究し、順を追って施策化していくべきではないか、と最後に高島市長に所見を求めました。

▲具体的な活性化策を提案しました!



1991年	西高宮小学校	卒業	2004年	早稲田大学大学院	政治学研究科修士課程 修了
1994年	西南学院中学校	卒業	同年	アクセンチュア株式会社	入社
1997年	筑紫丘高等学校	卒業	2007年	福岡市議会議員(1期)	
2001年	九州大学法学部	卒業	2011年	福岡市議会議員(2期)	